

阿波市立土成小学校

1 学校の概要

- ① 児童数 257名
- ② 校訓，めざす児童像等
 - 「進んで学習する子」
 - 「思いやりのある子」
 - 「身体をきたえる子」
- ③ 環境目標，テーマ
【メインテーマ】



創ろう，生物多様空間「アサザビオトープ」

----- 育てよう，地域の宝「アサザ」と郷土を愛する子ども -----

(1) 「節電」「ゴミ分別」「リサイクル」に取り組み，循環型社会の形成者としての児童の育成

(2) 地元浦池に自生するアサザ（阿波市天然記念物の水生植物）の保全活動を通して，生物多様性をキーワードにした環境学習に取り組むカリキュラムづくり

2 行動方針

- ① 節電に努めます
- ② ゴミの分別に努めます
- ③ リサイクル活動を行います。
- ④ 環境保全「ビオトープづくり」
- ⑤ 環境学習「アサザビオトープに集う生物の生態についての調査・研究」

3 行動

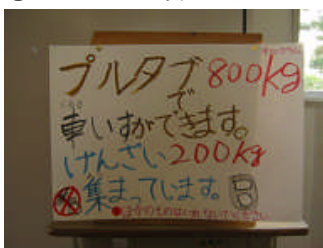
- ① 児童の意識高揚の手だて



児童玄関，廊下の横看板に土成小学校の環境を守ろうという意識付けにつながる掲示をしたり，職員玄関に学校全体計画を掲示したりして，児童，職員の意識向上を図っている。

節電と節水を呼びかけるカードをスイッチや蛇口に掲示し，児童の意識向上を図っている。また，カードを児童にも配布したり，学校だよりに掲載したりして，保護者へも学校での取り組みを紹介している。

- ② ゴミの分別及びリサイクル活動



美化奉仕活動として，5月30日（水）にゴミゼロの日の活動をしている。その時に学校周辺のゴミを拾い，分別作業を高学年の児童を中心に行っている。また，リサイクル活動として，プルタブを集めている。現在 200kg が集まり，車いす（800kg が必要）購入に向けて，ボランティア委員会が中心となって活動している。

③ 環境保全・環境学習



6月12日(火)に吉野川高校の生徒7名と教師2名が来校し、6年生と一緒にアサザの植え付け作業をした。その後、アサザビオトーププラン実行委員会のメンバーが、中庭のビオトープづくりに取り組み、アサザの保全活動を通して、生物多様性をキーワードにした環境学習に取り組んだ。



11月末に各学年別にネイチャーゲームを体験した。徳島県ネイチャーゲーム協会より講師2人に来ていただき、「コウモリとガの食う食われるの関係を実際に体験しながら学ぶ」「耳をすませて、まわりから聞こえてくる音をじっくりと聞き取る」等の体験をした。子ども達は、自然の不思議や仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気づくきっかけになった。

4 具体的効果

アサザビオトーププラン実行委員会のメンバーが取り組んできたことは、10月12日(金)阿波市科学作品展・科学経験発表会(八幡小学校が会場)において「浦之池におけるアサザの生育に関する研究 ---アサザビオトープづくりのための研究---」というテーマで発表した。研究の結果、「浦之池」「熊谷寺東池」のアサザの分布調査から、アサザは水深が深いところでは育つことができないことがわかった。これは、水面に浮かんで成長するウキクサと異なり、池の底の土に根を張り茎と葉を水面まで伸ばして成長するアサザのつくりからだと考えられる。アサザは、茎が成長できる水深60cmくらいまでが適しており、水質調査と生育実験からアサザの成長には、窒素肥料がより効果があることなどが分かった。この研究の成果を土成小学校でのビオトープづくりに生かした。

また、節電や水の大切さを考える活動として、4年生の学級活動において、1年生に分かるように紙芝居にして説明するという活動に取り組んだ。紙芝居を見た1年生からは、「電気や水の大切さが良くわかった。」と感想が寄せられた。

5 改善点

- ・[啓発活動]: 「美しい土成小学校の環境を守る」という取り組みを、学校全体で共有できるように、ボランティア委員会などを中心に広報活動を活性化させる。
- ・[日常の活動]: 各学級で子どもたちの取り組みを支援できるようなカードや賞状を発行したり、全校での取り組みを集会などで発表したりする場を設定する。
- ・[保護者との協力]: PTA 役員会の厚生部会の活動に、「学校版環境 ISO」にかかわる活動項目を新たに設定し、PTA と学校が協力して活動できるようにする。
- ・[ビオトープづくり]: 本年度から取り組んでいるアサザビオトーププランについて、来年度もより一層発展的な活動ができるように、先進的に行っている学校の情報を取り寄せ、本校に取り入れることができる活動を選定し、来年度からの行動計画を立案し、職員間で共通理解を図る。